

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2021/1/29
所属学部・ 研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科

1. 留学先について

留学先大学名	University of Eastern Finland								
留学先所属学部等	Education, Adult Education and Career Counelling								
留学期間	出発日	2020/1/1	入学日	2020/1/7	修了日	2020/5/22	帰国日	2020/3/19	
住居	大学(紹介)の寮・アパート		民間アパート		<input type="radio"/> その他(ホームステイ)			
	通学時間	15分					On campus		
	通学方法	徒歩、自転車							
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	()	人部屋		その他()			
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	その他()		
食事	自炊	70 %	学食	10 %	外食	20 %	その他 () %		
保険	海外旅行保険(名称)	ジェイアイ t@bihoたびほ							
	派遣先大学指定の保険(名称)						<input type="checkbox"/> 強制加入		
	その他								
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウイスコンシン(電車)								
	成田 ⇄		ヘルシンキ(飛行機)			⇄ ヨエンスー(電車)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	55万 円								
出どころ									
自費	<input type="radio"/>	貯金	11万 円		アルバイト	円		その他	円
援助	<input type="radio"/>	両親	20万 円		家族・親戚	円		その他	円
奨学金	<input type="radio"/>	JASSO	40万(8万×5ヶ月)	円		その他名称(円
その他		その他()	円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	5万 円	その他()	円
留学中	海外送金	<input type="radio"/> キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	現金
住居にかかった費用	現金でホストファミリーに支払っていた
その他	ほとんどがクレジット払い

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			125,000	円
海外旅行保険			77,310	円
OSSMA			19,800	円
査証・在留許可証	ユーロ	350	44,000	円
住居	ユーロ	1,050	134,000(光熱費込み)	円
食費			100,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費	ユーロ	52	6,600	円
光熱費			0	円
その他 (遊び)			50,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			○	有	無
1 Research in Early Language Education	正規	5	○	有	無
2 Ethics in Intercultural Interaction	正規	5	○	有	無
3 Approaches to Special Education in Finland	正規	3	○	有	無
4 Survival Finnish	正規	2		有	無
5 Orientation for International Students	オリエンテーションに参加するだけ	1		有	無
6				有	無
7				有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

WebOodiというサイトで履修科目の選択、登録を行った。授業が始まってから履修が確定するまで期間があり、授業を受けてみてからキャンセルすることもできた。

3-2. 授業内容、方法に関して

ほとんどが対面。Ethics in Intercultural Interactionだけ、自主学習とレポート提出のみだった。授業は参加型が多く、ディスカッションやグループワークがあったので、講義内で他国の留学生と友達になることもあった。

3-3. 語学力について

IELTS6.0。講義は英語で行われ、教授の英語もとても聞き取りやすかった。ただ、他国の留学生の英語力が自分より高く、グループワークについていくのが少し大変だった。

3-4. 図書館など学内施設について

学内の敷地が広かったため、初めは教室を探すのに苦労したが、慣れれば非常に充実していた。学食も一食約2ユーロで食べることが出来て、サラダやパンは取り放題だったので大満足だった。特に図書館は、鍵を貰えば閉館後も入ることが出来たので夜遅くまで勉強することが出来て便利だった。

3-5. その他

特になし

4. 生活面

4-1. 住居について

同じ大学への留学経験者の友人に紹介してもらい、ホームステイをした。学生寮に比べると家賃が高かったが、一階と二階で生活の導線が完全に分かれていたので、ほぼ一人暮らしのような状態で快適だった。

4-2. 食生活について

朝夜は自炊、昼は学食を利用していた。外食は高かったのも、たまに友達と行くくらいだった。近くにスーパーがあり、日本に比べて全体的に高いと感じたが、品揃えも良く不便はなかった。牛乳の種類が異様に多く、どれを代えば良いか分からず人に聞いた思い出がある。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

携帯は一ヶ月使えるsimカードを日本で買っていった。期限が切れた後は、コンビニで一ヶ月ごとにチャージができるsimを買って利用していた。大学施設は大体の場所でwifiが繋がった。

4-4. 服装について

防寒機能の高いダウンコートを一枚、スノーブーツ、セーター、ヒートテック、パンツなどを何枚か持っていった。服はフィンランドでも買えたので持参するのは最低限で良いと思った。サウナで着る水着は持っていった方が良い。

4-5. 健康管理について

特に問題はなかった。日照時間の関係で、日光を浴びる時間が少ないので一応ビタミン剤を飲んでいたが効果があったのかはよく分からない。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

利用する機会は無かった

4-7. 課外活動について

特になし

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

Jomoni(ヨモニ)という学生交流団体のようなものに所属していた。誰でもウェルカムな雰囲気だったので参加しやすかった。毎週のミーティングでお菓子を食べながら話したり、他国の留学生在がイベントを開いたり、多くの留学生と関わる機会があった。人間関係がこの団体に入って広がったので参加してよかった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

日本のお菓子: 留学生同士で寮でご飯を作りあったりした時に、持っていくと好評だった。
 緑茶: フィンランドにもgreen teaがあったが、日本の緑茶を留学生にあげたら、とても好評だった。
 醤油やみりんなどの調味料: フィンランドにも売っているが高いし少ない。衣類を最低限にして持って行けばよかったと後悔。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

海苔: フィンランドでも売っていた。
 英語の参考書: 重いだけで全く使わないかった。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

私が関わったフィンランドの人たちは、あまり積極的ではないが、自分から仲良くなろうと一歩近づけば、心を開いてくれる印象だった。また、街の人はとても親切で感動した。フィンランド到着初日に道に迷い、スーツケースを持って彷徨っていたら、フィンランド人のおじさんが声をかけてくれて、道を教えてくれた。ドアを開けて待っていてくれたり、お店の店員さんが優しくしたりと、留学生にはほとんど優しい国だと思った。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

[ロヴァニエミ]2020年3月5日間 約4万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

大学周辺にスポーツをする場所がたくさんあり、スキーやバレーボール、バドミントンなどをしてた。Sykettä(地域の会員制スポーツクラブのようなもの)に登録すれば、スポーツイベントに参加し放題だった。サウナにもよく行っていた。大学からは少し離れているが、極寒の中で凍った湖に飛び込む体験はフィンランドでしかできない経験だった。

5. その他

5-1. 留学先大学について

留学前にチューターと連絡を取らせてくれたり、留学後もオリエンテーションをしっかりとってくれたり、手厚くサポートしてくれたので、問題なく留学生活をスタートできた。講義に関しては、レベルや開講方法によって内容も大きく異なるので、事前に確認しておく必要があると思った。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

東フィンランド大学は、ヨエンスーという小さな都市にあるので、フィンランドの自然を感じながらのびのびと学習できるところがとても魅力的だと思います。特に海外の学校教育に興味のある方は、現地の学校にアポイントメントを取れば、簡単に訪問ができるので、オススメです。
留学前の準備については、ビザの取得が期間がかかったり、手続きが多くて大変だったりのため、余裕を持って準備できたら良いと思います。

5-3. 留学を終えて

コロナウィルスの感染拡大の影響で、途中帰国という終わり方になってしまったが、この時期に海外にいらることが出来たのは、非常に良い経験だったと思う。まだまだ、海外へ自由に渡れる日がくるまでは時間がかかりそうだが、また何らかの形でフィンランドに行きたい。